

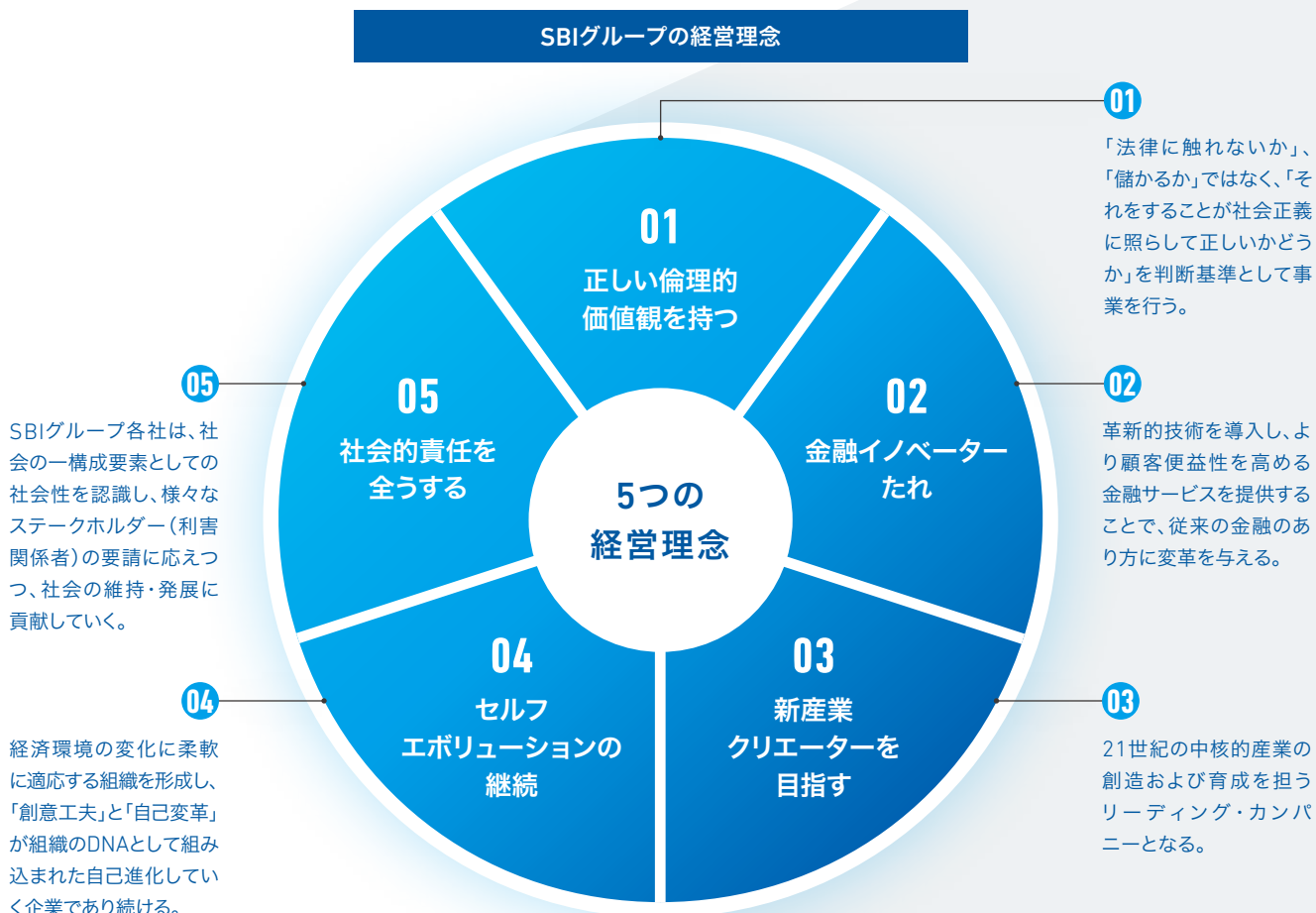
SBIグループの存在意義

PURPOSE

常に時流を捉え「世のため人のため」となる
革新的な事業を創造することが、
創業時からの私たちの想いです

「経営理念」とは、経営トップの交代や事業環境の変化があっても簡単に変更されることのない、企業の普遍的な価値観や存在理由を示すものです。すなわち、組織の依って立つ礎であり、それによって企業は長期的な目標を明確にでき、社員は働く目的を共有できるようになると考えています。SBIグループは1999年の創業に先立ち、以下の「5つの経営理念」を定めました。

この「5つの経営理念」に加え、企業は社会の一構成要素であり、社会に帰属しているからこそ存在できるという考えのもと、社会の維持・発展に貢献することを目指してきました。常に時流を捉え、「世のため人のため」となるような革新的な事業を創造することが、創業時からの私たちの想いです。



SBIグループの 経営理念を体現する具体例

SBIグループはインターネット技術の黎明期に創業し、オンライン証券事業に参入①しました。「顧客中心主義」の徹底により、株式売買委託手数料の継続的・段階的引き下げを行い、真に顧客の立場に立ったサービスを提供し続けることで①、SBI証券はリテールマーケットでトップシェアを誇る証券会社へと成長しました。このように、当社グループは「世のため人のため」となるような革新的な事業を創造することで、持続的な成長を実現するとともに、社会の維持・発展に貢献してきました②。しかし、こうした過去の成功体験に捉われず、昨今目まぐるしく変化するデジタル世界の潮流を的確に捉え今後も進化し続けるべく③、セキュリティ・トークン(ST)、非代替性トークン(NFT)といったデジタルスペース分野への取り組みを進めています④。

事業構築の基本観

「顧客中心主義」の徹底

SBIグループでは創業以来、顧客利益を最優先する「顧客中心主義」を掲げています。株式売買委託手数料の価格破壊、好金利の預金商品の提供、業界最低水準の保険料の実現など、革新的な技術を活用して価格競争力を持つ商品・サービスを提供することに加え、お客さまのニーズに合わせた商品ラインナップの拡充や、ネットとリアル店舗の融合にも努めています。

「企業生態系」の形成とシナジーの徹底追求

「企業生態系」とは、互いに作用しあう組織基盤によって支えられた経済共同体のことを指します。SBIグループでは、「全体は部分の総和以上である」「全体には部分に見られない新しい性質がある」という「複雑系の科学」の二大命題をもとに、単一の企業では成し得ない相乗効果と相互進化による高い成長ポテンシャルを実現する「企業生態系」を構築してきました。

革新的技術に対する徹底的な信奉

SBIグループは、AIやブロックチェーン、ビッグデータ、IoT等の新たな技術を積極的に活用しています。革新的な技術開発が世界的に進展するフィンテック領域のほか、AIやブロックチェーン分野における国内外の有望なベンチャー企業に「投資」し、投資先企業の有する新技術等をグループ内金融サービス事業各社へ「導入」、そしてそれらの技術を業界横断的に「拡散」という3つのプロセスを通じ、成長を推進しています。

近未来を予見した戦略の策定と遂行

SBIグループは、グループ各企業を同じベクトルに向け総動員し、効率的なシナジーを生むとともに相互に一体感を強めるため、「全体戦略」と「個別戦略」を策定し事業に取り組んでいます。全体戦略は、社会問題や国家目標などに合致し、時代の変遷を見ながらグループを挙げて取り組むもので、その全体戦略が効率的に各子会社に伝播され具体的な個別戦略となり、統一的な目標を達成する動きとなります。